

平成26年度

研修集録

第 29 号

秋田市立秋田商業高等学校

人は、なぜ学ぶのか



校長 鎌田 勝

今年のNHK大河ドラマ「花燃ゆ」が始まった。揺れ動く幕末、長州藩が舞台であり、明治維新につながる大事な時代である。その第1回目（1月4日）の放送の中で、吉田松陰（この時21歳）が藩校明倫館の塾生に、こう言った。

「皆に問いたい『人はなぜ学ぶのか？』。…己のためだ。己を磨くために人は学ばんじや」と。隣にいた、後に明倫館で儒学を教える友人がそれに続いた。

「『人は、なぜ、学ぶのか？』。…この世の中のために、己がすべきことを知るために学ぶのです!」。テレビを見ていて、はっと思った。忘れかけていた言葉であり、なるほど大切な問いかけだなと思った。そして自分自身に問うてみた。「生徒は、なぜ学ぶのか」と。

松陰が教えていた松下村塾は、今から150年ほど前、ペリーの江戸来航の頃のことである。わずか2年10ヶ月という短期間で、100人近く世の中の役に立つ逸材（明治維新の立役者）を輩出したことで注目される。松陰は、個を生かし、生きていく力や自由な発想を尊重しており、現代の教育が理想とする方向を本質的に先取りしている。現在、我々教師も個を大切に、その生徒の持っている興味・関心を掘り起こし、一人ひとりをどう伸ばしていけばいいのか、いろいろと考えながら実践を積んでいる。3学期の始業式で、松陰のこの話を紹介し、教師や生徒たちに問いかけた。「生徒は、なぜ学ぶのか」と。生徒には自分を磨く他に、必ずや将来、夢や希望を叶えるチャンスがやってくる。そのチャンスを掴むために、今、しっかりと学んで力を付けておくことだと話をした。

さて、新高等学校学習指導要領が平成25年度から年次進行で全面実施された。改めてその趣旨を確認してみると、生徒に「生きる力」を育み、「確かな学力」を習得させ、主体的に学習に取り組む態度を養うことを重視している。本校においても、その趣旨を生かし、1年間にわたり「個の学力を高めるための授業」をテーマに取り組んできた。

校内を回って授業を見ると、「いい授業だな」と思える共通点がある。それは生徒の顔がほぼ全員教師に向けられ、顔が上がった状態で進められていることだ。さらに机から前のめりの姿勢になり、目が輝いている。教室全体からは活気が感じられる。この授業の雰囲気が一番大事だと常々思っている。毎日の授業で生徒のやる気を維持していくには、教師と生徒との信頼関係が必要である。魅力ある授業は教師の人間的な魅力にも関わってくる。普段どう生徒とコミュニケーションをとっているかも大切だ。授業前の教室の環境整備（黒板の周りや机の整頓、ゴミ拾い）や生徒への授業内容の呼びかけ、授業へ臨む生徒の意識を高揚させながら、ベルと同時に授業を開始する。この授業への姿勢も信頼関係の基礎であると考ええる。

「教師は授業で勝負する」と言われる。「魅力ある授業」を行うには、教師自身が常に自らを磨き、研修を積み重ね、「教師のプロ」としての力を身に付けることが大切だ。そのために一番必要なことは授業研修ではないか。優れた教師の授業を参観し、新しいものを取り入れ、向上心を忘れず学び続けることが成長につながる。本校でも研修を深め、教師全員がお互いを高め合い学び合おうとする姿勢が強くなっている。これを大切にしたい。

本誌には、本校の教師が実践してきた研究活動の一端が紹介してある。常に真摯に学び続けようとする教師の姿勢に、深甚なる敬意を表するとともに、その成果を発表できることは誠に意義深いことと考える。

終わりに、多忙の中で研究・執筆・本誌の編集作業にあたられた方々に心から謝意を表すると共に、本誌をご覧いただいた方々の御指導、御鞭撻を切にお願い申し上げ、「研修集録」発行に当たっての序とします。

目 次

◎巻頭言「人は、なぜ学ぶのか」	校 長 鎌 田 勝		
I 研究発表			
◇秋田県学校体育研究大会秋田大会研究発表			
第34回秋田県学校体育研究大会の発表を終えて	保健体育科	山 本 正 敏	…… 3
◇2014サイエンス・リーダーズ・キャンプに参加して	数 学 科	野 呂 耕一郎	…… 8
II 指導主事訪問（研究授業）			
◇日程・訪問指導主事		教 務 部	…… 9
◇研究授業の学習指導案と協議会（国語科）		国 語 科	…… 10
◇研究授業の学習指導案と協議会（家庭科）		家 庭 科	…… 13
◇全体協議会		教 務 部	…… 16
III 校外研修			
◇「わかる」授業と指導の「見える化」	商 業 科	菅 原 健 太	…… 20
IV 校内研修の記録			
◇第1回校内職員研修「学校をめぐる諸問題について～事例紹介を中心に～」		研 修 部	…… 22
◇第2回校内職員研修「教職員の健康講座」		研 修 部	…… 25
V 勝平中学校との学校間連携			
◇勝平小・中・高・特別支援学校連携協議会		研 修 部	…… 31
◇勝平中学校授業参観及び各教科研究協議会		研 修 部	…… 33
◇勝平中学校2年生による商業科目授業体験		商業科・研修部	…… 35
VI 授業公開週間実施報告			
		研 修 部	…… 40
VII 報告			
◇ビジネス実践「AKI SHOP」	商 業 科	櫻 庭 咲 子	…… 50
◇ビジネス実践「キッズビジネスタウン」			
	商 業 科	石 田 雄 哉	…… 52
◇ビジネス実践「エコロジカルビジネス」	英 語 科	大 堤 直 人	…… 54
◇第112回日本小児精神神経学会研修セミナー参加報告			
「通常の学級における多層指導モデル（MIM）」			
	保健・教育相談部	藤 中 由 美	…… 56
◇商業高校生未来創造事業 平成26年度生徒ビジネス研修			
	商 業 科	小 西 一 幸	…… 57
		佐 藤 俊 平	…… 57
◇キャリア教育としての秋商「現代社会」	地歴公民科	泉 広 宣	…… 59
◇高等学校教職5年経験者研修講座報告	商 業 科	小 西 一 幸	…… 62
◇高等学校授業向上研修講座（8年研）報告	保健体育科	佐 藤 寛 仁	…… 63
◇高等学校教職10年経験者研修報告	商 業 科	小 林 克	…… 65
◇高等学校教職10年経験者研修報告	商 業 科	石 田 雄 哉	…… 73
◎平成26年度研修会・研究会等参加者			…… 80
◎編集後記		研 修 部	